

## 教育委員会だより

「自主」と「共生」～自己肯定感

平成 30 年 12 月 21 日号 多治見市教育委員会 教育総務課

### 平成 30 年度 多治見市青少年まちづくり市民大会



11 月 17 日(土) パロー文化ホールで、「子ども・若者育成支援強調月間」に合わせて本大会を開催しました。青少年関係者及び市民の方々が集まり、青少年への理解を深め、実践を交流する機会として、毎年開催しています。

約 300 人にご参会いただきました。たんぼ福祉会さんによる和太鼓で大会の幕が上がり、青少年

健全育成にご尽力された方々の表彰を行うとともに、小泉中学校ブラスバンドクラブのみなさんによる演奏で大会に華が添えられ、最後に切磋琢磨氏による落語講演会を行いました。会場のロビーでは、各校区青少年まちづくり市民会議の活動紹介のパネル展示を行い、来場された方々に市民会議の活動を広く知っていただきました。大会運営では、多くの中学生ボランティアのみなさんに携わっていただきました。準備から当日まで、関わっていただきました全ての皆様に、厚くお礼申し上げます。

### プログラミング教育の研究授業開催



11 月 22 日(木)、池田小学校で総合的な学習の時間の授業研究会が行われました。プログラミング教育の実証研究が大きなテーマでした。

プログラミング教育は、平成 32 年度から全面实施となる小学校学習指導要領の改訂にあたり、これからの時代に必要なプログラミング的思考を身につけるために必ず実施することとして盛り込まれました。新たな教科として時間数が増えたり、難解なプログラムを学ぶというわけではなく、現在行っている授業のどこかに取り入れる形で行うというものです。

教育委員会では、平成 32 年度から学校現場で円滑に実施できるようにするため、多治見市企画部情報課の職員と連携し、市内の教職員からメンバーを募って研究チームを作りました。本年度と来年度で実践を積み重ねる取り組みの一環が、この日の授業研究会でした。

児童は、ダンスコンテストに向けて、ロボットに「こんな動きをさせたい」

という願いをもち、チームで協力して意欲的に活動することができました。プログラムとロボットの動きを見ながら、試行錯誤を重ね、必要な情報を順序よく並べることの大切さを実感していました。

### わがまち多治見大好き講座⑦「多治見ふるさとしごと塾」



12 月 1 日(土)、本年度 7 回目の「わがまち多治見大好き講座」、『多治見ふるさとしごと塾』を行いました。多治見ロータリークラブの全面的なご協力をいただき、155 名の小中学生が、本市各界の第一線で活躍しておられる 20 名の方々と、講話や体験を通して、仕事や郷土への思いを伺い、ふるさと多治見への愛着を深めることができました。

陶器の手びねりに熱中する姿、かつて実際にコースを走行したレーシングカーの運転席に座り、目を輝かせて計器類に触れる姿、童話『3 匹の子豚』をモチーフにした裁判ドラマで、有罪と無罪について真剣に考える姿、大きなうちわで必死に炭火を扇ぎながら、ウナギを焼く 1 年生。18 のブースで活動するどの姿も生き生きとし、笑顔は輝いていました。本市ご出身の歌手、佐藤梓さんと共に作る音楽教室。透き通った力強い歌声にも魅了されました。

1 年間で最大規模の講座を成功裏に終えることができました。お世話になりました全ての皆様に、厚くお礼申し上げます。

- ぼくは、大人になったらゆれぬ家を作りたいです。次は、歯医者体験をしてみたいです。(小3)
- 初めて知ったことがたくさんありました。また、多治見にすごい人がたくさんいることにとても驚きました。(小6)
- 車に乗った途端、新しく知った知識を嬉しそうに話してくれました。多治見で活躍されている大人の方たちのお話を聞くことは子どもたちにとって新鮮で良い刺激になったと思います。(保護者)
- ボランティアでありながらも先生方のお話を聞き、「～は～になっているんだ」と面白く感じました。次回のボランティアも参加したいと思うほど楽しかったので、また参加したいです。(中学生ボランティア)

#### < 1 月の行事から >

- 4 日(金) 学校閉庁日
- 7 日(月) 連合生徒会
- 8 日(火) 冬季休業後最初の登校日
- 10 日(木) 教育実践論文審査会
- 26 日(土) わがまち多治見大好き講座⑧「子ども議会」(24 名)

#### < 2 月の行事から >

- 2 日(土) 発達障がいを考えるセミナー 13:00 市民病院 7 階
- 2 日(土) 第 55 回土と版画展(～4 日(月)) パロー文化ホール
- 6 日(水) 校長会
- 19 日(火) 特支コティイ研⑤